この記事がすごい! 毎日新聞今週のこだわり4本



2023年11月26日号

編集/毎日新聞社カスタマーリレーション本部

小児心臓移植の現実

26日(日)=1、3面



心臓移植を待ち始め、まだ元気だった玉井芳和ちゃん =家族提供

子どもの臓器移植を巡る現実をご存じでしょうか。15歳未満の子どもの臓器提供も家族の同意があれば可能とした改正臓器移植法が2010年に施行されました。ただ、日本臓器移植ネットワークによると、6歳未満の脳死者からの臓器提供は18年10月末までで計9例にとどまっています。

22年4月、心臓移植がかなわず命を落とした子どもがいました。玉井芳和ちゃん。わずか4歳2カ月の時でした。とても小さな体で闘病して

きたのですが、短い人生を終えたの です。

芳和ちゃんの死後、母親は「国内 での移植を選ばなければ」「海外で 移植をしていれば」などと自身を責 めるばかりでした。

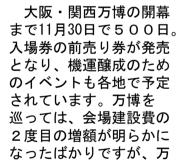
実母からの生体腎移植で救われた記者が、芳和ちゃんの人生をたどるとともに、我が子を失った両親が、同じ境遇の家族へ伝えたいと思っていることを記します。

小児心臓移植の現状に迫ります。



どうなる?大阪・関西万博

30日(木)=3面





建設中の大阪・関西万博会場=大阪市 此花区で

特集「コイド

あの人に聞く「お留守番禁止条例案」

27日(月)=夕刊2面

事堂=さいたま市浦和区で

いわゆる埼玉県の「お留 守番禁止条例案」が撤回されて1カ月余がたちますが、 世間のザワザワ感は今も収まっていないように感じます。そもそも、きょうだい での留守番も親の虐待だと 断じるような、あのような 議案がどうして提案され、 成立寸前まで進んだので しょうか? 埼玉を愛して やまない「あの人」にツッ コんでいただくことにしま した。





化し子供の学びにもとりました。教員不足も深刻の教員採用倍率は低いな立学校で77・1%にはが敬遠されいがですが、厳しいいがでででです。

ました。 とうすれば教員の勤 を、学校現場の がを、学校現場の がを、学校現場の がを、学校現場の がで、学校現場の がで、学校現場の である。 である。 では、 では、 でいます。

30

※11月19日号の「この記事がすごい!」で掲載した「なるほドリワイド 中国の不動産不況が深刻化」、は紙面事情により掲載日が11月26日付に変更となりました。